虹の家

な な い ろ

『安心して暮らせる地球を願って!』

（幸せをめざして PART 24）

所　長　　小　野　　真

地球の平均気温は、20 世紀の 100 年間で約 0.6 度上がりました。地球の歴史では、過去の 1000 年間を見ても、これほど気温が上がったことはなかったそうです。このままのペースで気温が上がっていくと、2100 年には 1.4 ～ 5.8 度、気温が上がると予想されています。

温暖化によって起こることとして「海面の上昇により島や国が沈む」「生態系の変化により病気の流行」「氷河の減少」「砂漠化」「ハリケーンや台風の大型化」などがあげられます。

地球温暖化対策の国際的な合意であるパリ協定では、世界の平均気温上昇を２度未満に抑え、今世紀後半には世界の温室効果ガス排出を実質ゼロとすることが求められています。温室効果ガスの排出が抑制された脱炭素社会を実現する取り組みが日本中で進められています。

当市においても洋上風力発電事業の誘致等の取り組みにより脱炭素社会の実現に向けた持続可能な地域づくりを推進しています。

そこで現在、温暖化などの地球環境の悪化を防ぐため、節電・節水・リサイクルを活動の柱としたエコ活動が世界中で実践されています。

１１月の全体朝礼で、虹の家の１年間のエネルギー経費が数百万円になることを話しました。さらに、「電気や水、などのむだづかいをしていないでしょうか？」と問いかけてみました。誰もいない作業場やトイレに蛍光灯がついていたり、まだ使える紙がゴミ箱に入っていたりしているのを見かけることがあることも話しました。

そこで、虹の家で今すぐできるエコ活動として３つのことを提案しました。

１つ目は、節電です。

「使わない電気は消そう！」を合言葉に利用者が委員会の活動として休憩時間に作業場を回って節電を呼びかけること。

２つ目は、節水です。

「えんぴつの太さに出そう！」を合言葉にバケツにくんで水ですすぐ時や歯磨きの時に水の出しっぱなしなどの無駄を少なくすることで節水を心がけること。

３つ目は、グループホームや家でもやってみることです。

事業所で行っているエコ活動をグループホームや各家庭でも挑戦すること。

次の世代を担う子どもたちが大人になったとき、また、その子どもたちが大人になったとき、安心して暮らせる地球であってほしいと願って取り組んでいます。

事業所・グループホームや家庭でどんなエコ活動ができるかを利用者の皆さんと一緒に考え今自分のできることから始めています。この活動が点から面へと地域に広がり大きなうねりとなることを期待しています。

午後のティータイム

11 月 11 日（木）食堂で「午後のティータイム」を行いました。コーヒーにケーキ、ぜんざい何れかを選んで楽しい一時を過ごしました。ウエイトレス・ウエイターは、利用者の皆さんにお願いしました。